

○事業所名	AIAI PLUS 麹町		
○保護者評価実施期間	2024年11月1日		~ 2024年12月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2024年11月1日		~ 2024年12月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○訪問先施設評価実施期間	2024年11月1日		~ 2024年12月15日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月21日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・支援の専門性(専門的な助言があり助かっているとの意見が多くあったこと。)	・保育所等の環境と個別療育での様子を照らし合わせてリンクさせながら、児童のエンパワーを高めていく側面と環境調整の側面の双方を意識しながら取り組んでいます。	・個別療育を担当している職員が訪問先での児童の様子を見られる機会を増やしていきたいです。
2	・通所施設に通所している児童の訪問が多いことから、様々な場面での児童の様子を伝えることができることや、訪問先での課題を個別療育で設定して療育できること。	・訪問担当と通所での療育担当とで常に情報を共有しながら全体像を捉えた支援に取り組んでいます。	・個別療育を担当している職員が訪問先での児童の様子を見られる機会を増やしていきたいです。
3	・訪問先とのチーム支援。	・その場だけの短期的な視点ではなく、中長期的な視点で訪問先の職員の方と一緒に解決を目指して行動・援助できるように取り組んでいます。	・本人・保護者、訪問先、訪問担当、通所療育担当等で情報を共有しながらのチーム支援をより一層意識していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・新規利用児童を増やしていくには今の体制では不十分。	・職員体制面。	・訪問職員の配置数を増やしたいです。
2	・専門的な助言ができる職員に限られていること。	・職員体制面。療育経験者の配置。	・曖昧な知識での返答や助言はせずに、わからないことは持ち帰り、検討してから返答するようにしているが、その場での確かな助言ができる職員教育に努めていく必要があります。
3	・ニーズに応じた柔軟な訪問回数の提供。	・職員体制面。	・訪問職員の配置数を増やしたいです。